

建交労大阪府本部 機関紙



発行元 府本部
電話 06-4800-7115

建交労大阪府本部とトラック部会共催 トラック・ダンプパレードを開催

建交労大阪府本部と大阪トラック部会は、「21春闘勝利！コロナ禍での解雇・雇止めに対抗し、魅力ある運輸・建設業界をめざそう！」をスローガンに3月21日（日）トラック・ダンプパレードを行いました。当日の午前8時30分、舞洲スポーツアイランドで雨が振る中で決起集会を行い、参加者は総勢60名でした。司会進行には副実行委員長（大阪府本部鷹巣副委員長）の進行が始まりました。冒頭にパレード実行委員長（大阪府本部執行委員長）から挨拶があり、「21春闘では、コロナ禍だからこそ大企業の内部留保を労働者に還元させること。また、消費税減税で内需を拡大させることが必要であ

る。そのためにもトラック・ダンプパレードで大いにアピールしよう」と呼びかけました。その後に来賓挨拶に駆けつけていただいた、大阪労連・菅議長、大阪建設共闘・矢野事務局長、日本共産党・辰巳こうたろう前参議院議員から激励の挨拶を受けました。時間の関係上、来賓として駆けつけていただいた、大阪交運共闘・庭和田事務局長は紹介するかたちになりました。そして、出発前のコース説明、パレード



に関する注意事項、大阪府警本部からの注意事項を説明し、「最後に団結がんばろう！」を大阪トラック部会・植西部会長が行い、トラック・ダンプ・トレーラーヘッド、宣伝カー等、合計31台で舞洲スポーツアイランドを出発し、野田阪神駅前を経由して、御堂筋を南下し、なんば駅前・高島屋前を

通過した敷津交差点で流れ解散しました。また、最終地点近くのなんば高島屋前で建交労大阪合同支部と大阪建設共闘がトラック・ダンプパレードに呼応して春闘アピール宣伝を行いました。ビラ配布は200枚とティッシュビラ100個を配布、参加人数は14名でした。



夢洲スポーツアイランド決起集会

大阪労連民間部会・春闘宣伝行動



大阪労連傘下に様々な業種で組織する民間部会は、3月8日（月）18時からならば高島屋前で、春闘宣伝を行いました。建交労からは、前村執行委員長・荻田書記長が参加し、各業種から弁士を選出して訴えました。建交労から弁士として荻田書記長選出され、荻田書記長は「2021年春闘は、新型コロナウイルス感染症が日本各地で猛威を振るい、厳しい経済状況、安倍政権を継承する菅政権の発足という大きな社会的転換点を向かえた中で取り組まれる」と述べ「コロナ関連による解雇者は9万人を超え、その内、約半数を非正規労働者が占めている。自民党型政治が財界・大企業・富裕層本位の歪んだ社会的経済構造を作り出し、コロナ感染症という困難

な局面に遭遇すると労働者・国民の生活や働く権利を損なう事態を引き起こし、格差と貧困を増大させている。そして、建交労大阪に加入する多くの組合員はトラック労働者である。トラック労働者の大半の企業は歩合給制で働いている。そのため、仕事が少ないれば何時間働いても賃金が低額になり、生活が維持出来ない。21春闘では、コロナ禍だからこそ大企業の内部留保を労働者に還元して内需を拡大させることが重要である。」と訴えました。民間部会の春闘宣伝に参加した組織は、国労大阪、福祉保育労、大阪医労連、生協労連大阪地連、JMTU大阪、全港湾阪神支部、化学一般大阪、自交総連大阪、建交労大阪府本部でした。

2021年4月11日（日）10時～ 国労大阪会館1階ホール・一般組合員学習会

講師・宮崎 徹（元化学一般中央書記長）

国土交通省にはトラック運転者など自動車運転従事者の状態改善を求める要請書です。コロナ禍の中、感染のリスクを負いながら現場を支えるト

厚生労働省には自動車運転者の改善基準告示の抜本改正・法制化等を求める要請です。運転者の賃金・労働条件の悪化が重大事故に結びついた

厚生労働省には自動車
運転者の改善基準告示の
抜本改正・法制化等を求
める要請です。運転者の
賃金・労働条件の悪化が
重大事故に結びついた



昼からは参議院議員・衆議院議員の国土交通委員に安全・安心なトラック輸送の実現に向けた要請を行いました。要請内容は国土交通省・厚生労働省



iDeCo(個人型確定拠出年金)は「自分で育てる年金」です。

1 掛金が全額所得控除

- 月給額 35万未満 毎月 4,400円(元)
- 月給額 35万超 毎月 5,500円(元)
- 個人型確定拠出年金 掛金上限 12,000円(月)

毎月 **144,000円** 元
年21,700円 元

**35歳から60歳までの25年間で
計約542,500円の節税効果!**

個人型確定拠出年金は全額自分の掛金が所得控除の対象になります。例えば月給額120,000円未満の人は、毎月5,500円(元)の掛金を納め、その全額が所得控除の対象。仮に毎月35万未満の月給額で年60歳まで納めると、25年間で約542,500円(元)の節税効果があります。月給額が35万超の人は毎月5,500円(元)ではなく毎月6,600円(元)の掛金を納めると、25年間で約652,500円(元)の節税効果があります。

●全額控除は「全額所得控除」(給与所得控除以外の所得の全額に適用)と「基礎控除」(給与所得以外の所得の全額に適用)のいずれかを選択することができます。

2 ろうきん「安心のポイント」

ろうきんは手数料が低水準で安心

ろうきんへの運営管理手数料は年金の積立率を減らすことなく、ろうきんの積立率・運用方針・投資の透明性を高め、安心して運用できるものもあります。

●ろうきんは、加入者全員が保有している運用方針があります。

●ろうきん運用に「運用する基金」は運用方針の範囲内です。

3 受取時まで安心のサポート体制

加え、資産増殖や運用状況をご加入者さまへ通知します。また、コールセンターや専用ダイヤルにて、お悩みに応じます。

●毎週発行される「加入者さまの資産状況」がご加入者さまへ送付されます。

個人型確定拠出年金をすすめるその理由とは?

高年齢に達してセーメント引当金はつくても一方、老後の給付安否は低下してしまいます。

●60歳以上の平均年金は、男性23.5万円、女性22.8万円と低下しています。老後の生活が安定に上っていくことが望めます。一方、老後の生活が安定に上っていくことが望めます。一方、老後の生活が安定に上っていくことが望めます。

●60歳以上の平均年金は、男性23.5万円、女性22.8万円と低下しています。老後の生活が安定に上っていくことが望めます。一方、老後の生活が安定に上っていくことが望めます。

●60歳以上の平均年金は、男性23.5万円、女性22.8万円と低下しています。老後の生活が安定に上っていくことが望めます。一方、老後の生活が安定に上っていくことが望めます。

1 掛金(所得控除) 毎月 4,400円(元)

●60歳以上の平均年金は、男性23.5万円、女性22.8万円と低下しています。老後の生活が安定に上っていくことが望めます。一方、老後の生活が安定に上っていくことが望めます。

●60歳以上の平均年金は、男性23.5万円、女性22.8万円と低下しています。老後の生活が安定に上っていくことが望めます。一方、老後の生活が安定に上っていくことが望めます。

●60歳以上の平均年金は、男性23.5万円、女性22.8万円と低下しています。老後の生活が安定に上っていくことが望めます。一方、老後の生活が安定に上っていくことが望めます。

1.500万円まで非課税対象に

(1,500万円超の部分は課税対象) (1,500万円超の部分は課税対象)

●非課税対象期間は、原則10年間で10年経過後に引き上げることができます。

働省に出した内容と同じで自動車運転者が新型コロナウイルスの感染のリスクを負いながら国民生活や経済活動に重要な役割をしている自動車運転従事者が賃金・労働条件が悪化しているが抜本的な改善がない事、緊急事態宣言で夜間を中心に運行する長距離ドライバーがSA・PAなどにおいても

20時以降の営業がおこなわれず深刻な影響が出ていることを報告をし、労働者・国民のいのちと健康を守り、労働条件向上をはかる立場からご尽力頂くように要請をしました。

＜ご相談、お申込みなどのお問合せは＞

梅田支店

TEL 06-4796-2777

〒531-6005 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト5階
 問合せ時間 月曜～金曜 9:00～17:00
 (祝日、12月31日～1月3日は除く)

3・11大阪総行動

西日本鉄道本部がストライキを決行！

全労連全国統一行動である3月11日(木)建交労大阪府本部と各支部は、大阪総行動に合流し、早朝から終日行動で取り組みました。早朝宣伝行動は、淀屋橋駅前で行い、荻田書記長が弁士として訴え「21春闘で建交労は、大企業本位から中小企業の経営安定、労働者の雇用安定、賃金労働条件の改善を求めてたたかいます。」と決意表明しました。その後、JR西日本本社前へ移動し、西日本鉄道本部と合流してストライキを構えて抗議宣伝行動を支援しました。冒頭のあいさつで、西日本鉄道本部・奥田委



JR西日本本社前

員長は、「JR西日本は1兆3188億円の内部留保をため込んでいます。莫大な利益は賃金にも設備投資にも回らず、株主配当と内部留保に回っています。内部留保の1.7%を労働者に還元するだけで2万5000円の賃上げが実現できま

す。経済の循環のためにも34000円の賃上げを勝ち取ろう。」と力強いあいさつを行い、ストライキを決行する仲間を激励するために駆けつけていただいた大阪労連・菅議長と建交労近畿地協・川口議長、そして、

建交労大阪府本部・前村委員長が激励のあいさつを述べました。JR西日本本社前での抗議宣伝行動は、全体で35名が参加しました。午後からは大阪労連に合流し、堺筋本町にある国際ビル前から大阪市役所前までデモ行進しました。

その後、女神像前で決起集会を行い、女神像前へ西梅田公園前まで「21春闘で大幅な賃上げを勝ち取ろう！消費税減税！コロナ禍での中小企業支援の拡充！など」シュプレヒコールでデモ行進しました。

自動車共済・自賠責の加入者を紹介して下さい！ 30周年記念拡大キャンペーン実施中

現在の「近畿地協事業部」が事業を継承した「旧関西うんゆ共済」設立(1992年1月)から2022年1月に30周年を迎えます。そこで「30周年記念拡大キャンペーン」を下記の通り実施します。期間は2021年1月1日～2022年1月31日。

1. 自動車共済(任意)・新規加入者にQUOカードをプレゼント

自動車(任意)共済に新規(他社からの移行含む)加入された組合員に下記車種別金額にそってQUOカードをプレゼントします。

原付:二輪=1,000円、普通車=2,000円、大型=3,000円

2. 上記新規加入者を紹介頂いた組合員に1,000円のQUOカードをプレゼント

3. 自賠責共済(保険)申込で500円のQUOカードをプレゼント バイクのシールチェック!

自賠責共済の新規・継続加入者に対し、「任意共済セット特典」として500円のQUOカードをプレゼントします。乗用車の自賠責は車検の2ヶ月前から申込できます。車検時に業者に「自賠責証書」を渡して、自賠手続き済である事を伝えるだけでOK!

有効期限 令和5年1月末 →



30周年記念特別企画!!

10年以上、自動車共済を継続頂いている方に感謝を込めて、

抽選で2万円の商品券を20名=総額40万円をプレゼント!

■応募資格 自動車共済を10年以上継続して利用して頂いている組合員
・資格の可否=10年以上の継続利用者であるか、ないかを下記枠内に○で表示。

■賞方は10年以上の継続契約者で応募資格 ・あり ・なし

■応募方法 官製はがき裏面に住所・氏名・連絡先(電話番号)を記入し、「30周年記念プレゼント応募」と記入し、下記宛先にお送りください。
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国労会館2階 建交労近畿地協・事業部
■送り先 宛前期(2021年2月1日～7月31日)、後期(8月1日～2022年1月31日)に分け、抽選し、各期10名の当選者へ商品券の発送をもって発表に代えます。

<お問い合わせは>

建交労近畿地協・事業部
大阪府本部共済会
関西ダンプ支部
兵庫県本部共済会
京都府本部共済会
関西合同支部
滋賀ダンプ支部

☎06-6357-9730
☎06-4800-7115
☎06-4800-8135
☎0798-39-8135
☎075-801-7839
☎075-205-0421
☎075-21-8035

